

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
日本工学院八王子専門学校	昭和62年3月27日	千葉 茂	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人片柳学園	昭和25年3月1日	片柳 鴻	〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111				
目的	常に新鮮なる人材を要望される現代社会に対応し、専門の学理と技術を身に付け、職業人としての自負と実力を蓄え、もって社会の中堅たり得る人材を養成する。電気工学コースでは、経済産業省による第二種電気主任技術者の認定を受けており、実務に関する知識、技術及び技能を教授し、社会人として必要な教養を身に付け、勤労の責任を重んずる、心身ともに健全な電気技術者の養成を目的としている。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工科技術専門課程	電子・電気科 電気工学コース	平成22年文部科学 大臣告示第153号	-			
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2100	1500	0	600	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
240 人	93 人	8 人	12 人	20 人			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格			
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏 季:8月3日～9月4日 ■冬 季:12月23日～1月6日 ■学年末:3月21日～3月31日		卒業・進級条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。		課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有			

就職等の状況	■主な就職先、業界等 株式会社NHKビジネスクリエイト 株式会社小田急ビルサービス 株式会社京王設備サービス 太平ビルサービス株式会社 野村不動産パートナーズ株式会社 三井不動産ファシリティーズ株式会社 ■就職率※1 : 95.7 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 : 88.2 % ■その他 成 26 年度卒業者に関する 平成27年5月1日 時点の情報)	主な資格・検定等	第二・三種電気主任技術者 第一・二種ボイラー・タービン主任技術者 第一・二種電気工事士 工事担任者 2級電気工事施工管理技術検定 消防設備士 ほか
中途退学の現状	■中途退学者 1 名 平成26年4月1日 在学者 111 名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 110 名 (平成27年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更・就職、経済的理由、病気療養・怪我治療 ■中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。	■中退率 0.9 %	
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。電子・電気分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学修評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月10日現在

名 前	所 属
建部 俊久	株式会社 日電 専務取締役
菊地 千春	太平ビルサービス株式会社 共育部長
泉 達了	株式会社 城南サービス
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長
丸島 浩史	日本工学院八王子専門学校 科長
古山 伸	日本工学院八王子専門学校 主任
柳川 和彦	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 課長

(開催日時)

第1回 平成27年8月 4日 13:00～14:30、15:00～15:30

第2回 平成28年3月 開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関する実践的な実習や演習を行なうため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、又は技術指導などを受けられる企業を選定する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
テクノロジー実習	第二種電気主任技術者認定必須科目 電気回路の基礎や各種測定器などの電気技術に関する知識を、実験を通じて検証します。	萩原電気管理事務所 安達電気管理事務所
基礎実験	第二種電気主任技術者認定必須科目 電気回路、電磁気の基礎や各種測定器などの電気技術に関する知識を、実験を通じて検証します。	萩原電気管理事務所 安達電気管理事務所
電気実習1	第二種電気主任技術者認定必須科目 低圧屋内配線工事の基礎を身に付け、シーケンス回路を実際に配線し、電磁リレーの動作を理解します。	萩原電気管理事務所 安達電気管理事務所

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の技術動向、必要とされる技術動向を検証し、カリキュラム、教育方法等の改善を行う。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月10日現在

名 前	所 属
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)
金子 英明	セントラルエンジニアリング株式会社グループマネージャー
細谷 幸男	八王子商工会議所事務局長
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社代表取締役
古木 勝紀	株式会社バンパー取締役
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野ハートクリニック事務長
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会事務局長
一瀬 康剛	株式会社アトム精密代表取締役
長畑 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会理事長

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/](http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/](http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/)

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 電子・電気科 電気工学コース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・後	30	2	○			○		○		
○			キャリアデザイン1	就職に必要なマナーや一般常識などを学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
		○	スポーツ実習1	集中授業としてスキー、スノーボード教室等を実施します。	1・後	30	1			○		○	○		
		○	英語1	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の基礎を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
○			テクノロジー基礎1	テクノロジーの基礎知識や計算手法について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			サイエンス	サイエンスの知識として、物体の運動や力などについて学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			電気回路1	直流回路などの電気回路について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			電気回路2	交流回路の考え方、法則、計算方法などについて学びます。	1・後	60	4	○			○		○		
○			電子回路1	アンプなど電子機器の原理や動作について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			電磁気1	電界や磁界などについて学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			電磁気2	電磁誘導、インダクタンス、電磁波について学びます。	1・後	60	4	○			○		○		

○		電磁気測定 1	単位や電圧計・電流計など各種測定器、測定法などの基礎を学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○		電磁気測定 2	単位や電圧計・電流計など各種測定器、測定法などの応用を学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
○		電気機器 1	電気機器の仕組みや動作原理、構造などについて学びます。	1・後	60	4	○			○		○		
○		モーターテクノロジー	モーターの動作原理や種類などの基礎技術から最新技術までを学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
○		シーケンス入門	信号機などに利用されている自動制御の基礎知識を学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
○		デジタル回路 1	2進法や基礎論理回路、各種デジタル回路について学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
	○	資格対策講座 1	第二種電気工事士、2級ボイラー技士など現場で役立つ実用資格を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
	○	資格対策講座 2	危険物取扱者など現場で役立つ実用資格を学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
○		テクノロジー実習	電子・電気系の基礎技術に関する実験を行います。	1・前	60	2			○	○			○	○
○		基礎実験	電気回路の基礎や各種測定器などの電気技術に関する実験を行います。	1・後	60	2			○	○			○	○
○		電気実習 1	屋内電気配線などの実習を行います。	1・後	60	2			○	○			○	○
	○	インターンシップ 1	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	1・通	30	1			○		○		○	
○		キャリアデザイン 2	社会人として必要な知識や自己表現力などを学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
	○	スポーツ実習 2	スキー&スノーボード教室などを実施します。	2・後	30	1			○		○	○		

		○	英語 2	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の応用を学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○			発電電技術	水力発電や火力発電、新エネルギーまでを学びます。	2・前	60	4	○			○			○	
○			電気機器 2	モーターなどのパワーエレクトロニクスについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○			電気法規	電気設備技術基準や電気事業法など電気に関する法律を学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○			電気施設管理	電気設備を管理する上で必要な電力供給などについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○			シーケンス応用	自動制御装置の設計法などについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○			電気材料	絶縁材料や導電材料などについて学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
○			送配電テクノロジー	電気が送られる送電や配電などについて学びます。	2・後	60	4	○			○			○	
○			通信システム 1	電気通信の基礎から通信品質や変調方式、光ファイバなどについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○			通信システム 2	データ通信システムやオンライン処理、ネットワーク技術などについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
		○	照明デザイン	暮らしに必要な照明について、光源や照明の設計などについて学びます。	2・後	60	4	○			○			○	
		○	鉄道技術	鉄道技術として、電車の仕組みや運行システムなどについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
		○	高圧電気技術	放電現象や落雷など高圧電気を安全に扱う技術について学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
		○	電気機器設計	電気機器である変圧器やモーターなどについて、その設計法を学びます。	2・後	30	2	○			○			○	

		○ 電気設備	受電設備や空調システムなどを学びます。	2・後	30	2	○			○	○		
		○ 電気応用	電池や蓄電池などについて学びます。	2・後	30	2	○			○	○		
		○ 資格対策講座3	冷凍機械責任者など現場で役立つ実用資格を学びます。	2・前	60	4	○			○	○		
		○ 資格対策講座4	消防設備士など現場で役立つ実用資格を学びます。	2・後	30	2	○			○	○		
○		電気実習2	屋内電気配線などの実習を行います。	2・前	60	2			○	○		○	○
○		電気応用実験1	モーターや送電システム、照明機器などについて実験します。	2・前	60	2			○	○		○	○
○		電気応用実験2	発電機や自動制御システムなどについて実験します。	2・後	120	4			○	○		○	○
○		電気製図	電気機器や配線図などを製図します。	2・後	60	2			○	○		○	○
		○ インターンシップ2	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	2・通	30	1			○		○	○	
合計			48 科目	2100 時間 (120 単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業時に必修科目1,560時間(88単位)、選択科目210時間(14単位)以上を取得し、合計1,770時間(102単位)以上を取得すること。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。